

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
平成 28 年度第一回企画運営委員会議事概要 (案)

【日時】 2015 年 4 月 7 日 (木曜) 12 時から 13 時

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席 (敬称略)】 清水 (委員長・情)、尾上 (情)、井上 (情)、増澤 (情)、藤原 (情)
若宮 (情)、難波 (生)、平岡 (生)、細田一 (情)、中村 (基)、石井 (生)、中野 (生)
EUM (情)

[遠隔参加] 石黒 (基)、大澤 (生)

[事務局] 鐘ヶ江 (情/大学院係長)、徳野 (情/部門事務局長) 磯田 (情/部門事務)、谷
川 (情/部門事務)、岡本 (情/部門事務)、井汲 (情/部門事務) 森田 (生/部門事務)、

【欠席 (敬称略)】 村田 (情)、谷田 (情)、藤田 (生)、松岡 (サイバー)、八木健 (生)、
柳田 (生)、近藤 (生)、細田耕 (基)、宮崎 (基)

[事務局] 松岡 (情/事務長)

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWinnovation)

議題

- ◆ 新年度着任者等についての紹介。(清水教授)
 - 4/1 付でプログラムに着任した特任准教授 EUM Suyong 先生、事務局長 徳野正昭氏の紹介と挨拶があった。
 - 今年度よりの企画運営委員会体制強化の目的で、新たに情報科学研究科 松下教授(産学連携、海外連携)、原教授(選抜)に参画いただいたことの報告と紹介、挨拶があった。
 - これまで選抜委員会に参画して頂いていた苧坂教授のご退職に伴い、人間科学研究科 村上教授にプログラム担当者に就任頂くとともに、選抜委員会に参画いただくことが報告された。
- ◆ 今年度の委員会体制、メンバーについて確認があった (清水教授) (資料: その他 1)
- ◆ プログラムの本年度体制、活動方針について (清水教授) (資料: その他 2)
 - 今年度の体制、イベントなどについて、主に特任教員・事務の担当および方針の概要が説明された。
 - ① 4/8-10 HW セミナー合宿 (新入生ガイダンス合宿)
 - ② 6/10 産学連携委員会 (尾上先生と日程調整中)

- ③ 教員主導 融合研究 (4月募集、5月より開始予定)
- ④ 7/13-15 学生主催若手合宿交流会
- ⑤ 8/23-24 OIST 学生来学 交流会
- ⑥ 北米研修 (時期は検討中)
- ⑦ 11/11,12 リーディングフォーラム
- ⑧ 12/19 OACIS シンポジウム (履修生のポスター参加)
- ⑨ 12月 Pre-QE、1月 R-QE
- ⑩ 国際アドバイザリ委員会
- ⑪ 国際シンポジウム→今後 WG を作って内容、時期等を検討する。
- 今年度は履修生に対して次のことを行う。
 - ・ e-learning を利用した倫理教育
 - ・ 修了要件を抜けないように満たすための必要なフォロー (窓口：細田一)
 - ・ 修了要件である英語能力向上のための支援 (従来どおり) (担当 EUM)
- 学内リーディングプログラム間の連携、他大学同分野との連携を目指すとともに、リーディングプログラムの今後に向けて卓越大学院に注視していく。

(1) 教務委員会 (資料1)

- 4/4 新入生(四期生)についてのガイダンスを実施した。4/8-10 に授業「HW セミナー」の一部でもある合宿を実施予定。
- 一期生が4年次に達したため、「HWIP 融合領域 PI 研究」開始する。3年次の「融合領域研究」に対応するものも含め、今年度は5件の応募があり研究を開始する。
- 履修生の修了に向けて、相談窓口を履修生専用ページに設置した。今後特任教員中心でフォローしていく予定。

(2) 選抜委員会：(資料なし)

- 4期生 18名

(3) 海外連携委員会 (資料3)

- 昨年度も実施したシドニー大学 Ehssan Sakhaee 先生のワークショップ(去年は2日開催)を今年度も実施してはどうか。候補としては5月9-11もしくは10-12の3日間。2日間は昨年参加していない者、1日(3日目)は昨年または今年受講した者が対象となる内容。

講師の必要経費は交通費および滞在費のみ(謝金は不要)。

→ 委員会で実施について審議の結果、実施することで承認された。

(4) 産学連携委員会 (資料なし)

- 国内インターンシップに関して参画企業から説明会を実施頂ける予定。(NEC、Microsoft 等4社)

(5) 広報委員会（資料5）

- 昨年度実施報告と共に今年度の予定について方針説明があった。
 - 今年の学生融合研究テーマについて HP に公開予定
 - リーディングフォーラムの対応者を見直して参加する予定
 - 高評価(S)を受けての広報活動(ビデオ作成、冊子等)を今後検討し対策していく

(6) その他

1. 特任教員の実験研究をサポートする技術系職員(技術補佐等)の雇用検討について（清水教授）（資料：その他3）
 - 特任教員が進める融合研究を支援・サポートする目的で技術系職員等を雇用したい。
 - 審議の結果承認された。
2. 現在募集中の教員主導の融合研究について（清水教授）
 - 関連する先生にお声掛けいただき多くの参画をお願いしたい旨の依頼と、また別途募集中の技術補佐員 S の雇用についてもここに含めることを並行して検討いただくよう依頼があった。

次回は 6 月 2 日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C 棟 4 階 C401 開催予定。